

ああ 遠くの空は 晴れている



NO 8

南箕輪村教育委員会

第8号では、広報みなみみのわ に令和8年1月号から掲載している
小中学校の授業風景 自分のよさと可能性を発揮する子どもたち
「共に 学び合う」を紹介します。今回は、南箕輪小学校の3年生 算数の
授業風景です。

【発行の趣旨】

子どもたちが、お互いのよさと可能性を発揮して、共に学び合いながら成長
している授業風景を村民の皆様にお伝えしていきます。「授業の充実」を学校づ
くりの根幹と考える学校での、子どもの学びを伝えていきます。

(次回予定) 令和8年 5月号 南箕輪中学校の授業風景です。

小中学校の授業風景

自分のよさと可能性を発揮する子どもたち

共に学び合う

No.2



子どもたちの「思いやり」「やさしさ」があふれています！

南箕輪小学校 3年生 算数の授業

単元「あまりのある割り算」より



学習問題

「35人の子どもが、長いす1きやくに4人ずつすわっていきます。
みんながすわるには、長いすが何きやくいりますか？」

子どもたちの追究の様子

○「わり算で解けそう！」→「 $35 \div 4$ でできそうだよ！」→「長いすは、8きやくじゃないかな？」

○「 $35 \div 4 = 8 \cdots 3$ 答えは8きやくだよ」

「でも、あまりの3ってどういう意味？」

「じゃあ、どうすればいいの？」

「すわれない人ってこと」「それじゃあ「みんな」がすわれないよ。」

→「すわれない人がいていいの？」

「だめだよ！3人がすわれないのはかわいそうだよ。」



「もう1きやく用意すればどう？」「4人まですわれるから、3人は
ぜったいすわれるね」「ということは、 $8+1$ で9 答えは9きやく
だね！」「そうすれば、「みんな」すわれるね。」

振り返り

4人ずつ座っている長いすは何きやくですか？と聞かれれば、8きやくが答えだけど、「みんな」がすわるにはと聞かれているから、
あまりの人数分も含めて+1きやくが必要なんだ、割り算の答えと問題文の答えが違う場合があるからよく考えることが大事。

この問題の ポイント

35人「みんな」が座るということです。32人、36人と4で割り切れる場合ではなく、35人、34人、33人と4でわって
あまりのある場合に、「みんなが座ることができるにはどうすればいいか」を追究した一時間の授業です。「それ
じゃあ「みんな」がすわれないよ。」の状態から「そうすれば、「みんな」すわれるね。」と課題解決をする中で、あまり
の3人の対応において、子どもたちの「思いやり」と「やさしさ」が発揮されていました。

算数の問題を解く中でも、生活場面における子どもたちの心情に寄り添った指導を大事にしています。

【このコーナーは、奇数月に、村の小中学校が順番で執筆していきます。】